



『教育の町 いわみフォーラム』

が開催されました。

3月4日(日)約80名の参加のもと開催されたこのフォーラムでは、「集まれ地域の達人 岩美町の教育を考える」をテーマに、岩美町の歴史・文化・自然・人など豊富な資源を活用した教育をどのように展開するか、意見が交わされました。大黒啓之教育長が「小学校3年と中学校2・3年の30人学級・各学校への特色ある学校づくりの100万円の措置・学校支援員の配置」など「教育の町」に向けた学校教育の取り組みを紹介した後、鳥取青少年ピアサポート代表片山長生氏をコーディネーターに迎え、それぞれの分野で活躍しているパネラーによるパネルディスカッションが行われ、「地域資源を教材化し、豊富な素材に相応した体験の場の提供が必要」「町民が主役となって、仲間を作って自分たちでやっていくことが大切だ。」など熱心に話し合われました。

人が輝き 海輝る きらめきつづけるまち岩美

～ “心・自然・恵み”豊かさを未来へ～

第8次岩美町総合計画策定!!

いわみの将来像 目標人口を13,000人と定め『人が輝き 海輝る きらめきつづけるまち岩美』を目指し、基本目標を次のとおり設定しました。

1. 協働と改革を推進するまち
2. 恵まれた環境を守り、安全で安心なまち
3. まちづくりは人づくり教育のまち
4. 豊かな資源を活かしたまち

さらに、この目標を実現するための次のとおり重点プロジェクトを設定しました。

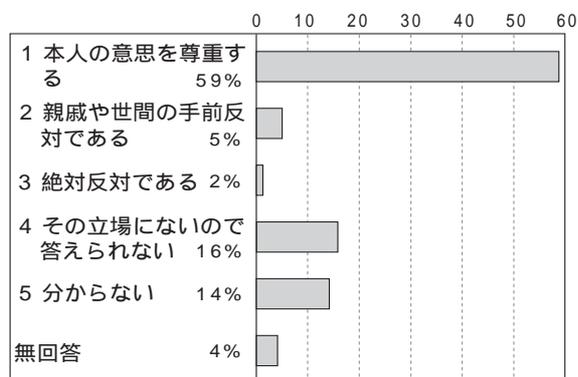
1. 少子化対策
肌を離すな・目を離すな・心を離すな の子育て3訓を盛り込み岩美町の将来を背負う子ども達を育てる体制づくり
2. 定住対策
若者・団塊の世代・高齢者の定住に向けて 企業誘致・道路交通網整備 空き家情報発信などの受け入れ体制づくり



【町民意識調査より結婚問題について】

人権問題学習 シリーズ 36

今回の意識調査で、質問8「あなたやあなたのお子さん、または身内の人の縁談で相手が同和地区の人でしたら、あなたはどうかされますか。」の結果は次の通りでした。



結婚相手が同和地区の人であり、親に反対されたまま結婚し、孫の顔も親に見てもらえないという悲しい例は鳥取県内においても多いと聞きます。本人同士が結婚を希望するのであれば、「本人の意思を尊重する」のが本来あるべき姿にもかかわらず、この意見は今回の調査で59%しかなく、まだまだ差別が残っていることが分かります。

生まれた地域によって差別することは、過去の日本の歴史の中で形成された過ちであり、私たちの子孫にまでこの差別を残すことのないようにしたいものです。そのためには、まず私たち大人が、誤った固定観念や偏見を取り去らなければなりません。おめでたい結婚に対して、みんなで祝福したいものです。